

## 附属診療所の役割の検証

### ○泉郷診療所

開設時の役割	検証の視点	検証内容
<p>・市内中心部から離れ、地域内に他の医療機関がない泉郷地区の医療を確保し、地域住民の健康保持と安全・安心の確保を図る。</p>	<p>・泉郷地域は、容易に医療機関を利用することができない地区に該当するか</p> <p>道路の整備や公共交通機関の発達、乗用車の普及などにより、設置当初の環境に変化がないか</p>	<p>・市街地と泉郷地域を結ぶ公共交通機関として、東千歳地区貸切バスが1日3往復運行している。国の「容易に医療機関を利用することができない地区」の基準では、公共交通機関の運行が1日3往復以下の場合に該当することとなっているが、乗用車の普及状況などにより、受診することが容易であると認められる場合は、該当しないこととなっている。</p> <p>泉郷地域においては、市民病院まで約13kmと比較的近く、所要時間は乗用車で約18分であることから、国の基準においては「容易に医療機関を利用することができない地区」とはなっていない。</p>

### ○支笏湖診療所

開設時の役割	検証の視点	検証内容
<p>・へき地診療所として、市内中心部から離れ、地域内に他の医療機関がない支笏湖地区の医療を確保し、地域住民の健康保持と安全・安心の確保を図る。</p>	<p>・支笏湖地域は、容易に医療機関を利用することができない地区に該当するか</p> <p>道路の整備や公共交通機関の発達、乗用車の普及などにより、設置当初の環境に変化がないか</p>	<p>・市街地と支笏湖地域を結ぶ公共交通機関として、北海道中央バスが1日4往復運行している。</p> <p>支笏湖地域の住民が公共交通機関を利用して市街地の医療機関まで行くために要する時間は、徒歩を含めて1時間程度となっており、国の基準では「容易に医療機関を利用することができない地区」に該当する。</p> <p>・北海道医療計画において、へき地診療所として位置付けられており、その役割は現在も続いていると考えられる。</p>

開設時の役割	検証の視点	検証内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地である地域の特性から、急患等への対応を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客等の利用はあるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支笏湖地域は支笏洞爺国立公園を抱え、温泉宿泊施設やキャンプ場などを有する観光地として、年間約 90 万人の観光客が訪れている。支笏湖診療所は当該地域における唯一の医療機関として、観光客のけがや急病等に対する診療を行っており、平成 21 年度の観光客と思われる受診者数は 44 人となっている。観光客の受診者数は人数こそ多くはないものの、当診療所がなければ急患が生じた場合には、診療を受けるために 30 分以上をかけ市街地まで行かなければならず、観光地として観光客の安全・安心の確保に寄与している。</li> </ul>